

歳出予算事業概要書

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	07 障がい者福祉費
事業	大 0114 相談支援事業 (簡略番号：005626)	中		小	
事業期間	平23. 4. 1～平24. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分		事業区分		目的区分	民 - 社会福祉費
補助単独区分					

所属	0101014100-0000 総合福祉課				
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	3,015	4,532	1,517	4,532	2,443
財源内訳	国庫支出金	377	1,178	801	1,178
	県支出金	188	589	401	589
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,450	2,765	315	2,765

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】 相談支援体制の充実を図るため、その業務を仁厚会（中部障害者地域生活支援センター）に中部圏域5市町が共同委託するものである。なお、21年度から障がい者の賃貸住宅入居に係る相談・調整業務（居住サポート事業）も併せて委託しており、障がい者の地域生活を支援している。また、相談員によるピアカウンセリング、地域の障害福祉に関する中核的な役割を果たす協議の場として必要な自立支援協議会を開催する。
【事業の必要性】 障がい者の地域における生活を支援し、自立と社会参加の推進を図るために総合かつ継続的な実施が必要である。

2. 根拠法令
 障害者自立支援法

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第2次総合計画】 共に支え合い笑顔いっぱいのもちづくり（地域福祉の推進）

5. 本年度の計画効果
【本年度の事業内容】 継続事業
 報償費 101千円 ピアカウンセリング58千円 自立支援協議会43千円
 委託料 2,914千円 仁厚会（中部障害者地域生活支援センター）
【事業の効果】
 ・ピアカウンセリング 身体、知的障がい者相談員が毎月1回の相談日を開設することにより、障がい者及びその家族からの相談支援体制の充実を図る。
 ・自立支援協議会 委員12名で構成、相談事業をはじめ地域の障害福祉に関し、中核的な役割を果たす協議の場として開催する。
 ・仁厚会（中部障害者地域生活支援センター）専門相談員が、生活支援を必要とする障がい者及びその家族に支援（福祉サービスの利用）

6. 財源の説明
 委託料について
【国庫補助金】 地域生活支援事業補助金
 （所要額2,913千円 - 基準財政需要額2,158千円）× 1/2 = 377千円
【県補助金】 地域生活支援事業補助金
 （所要額2,913千円 - 基準財政需要額2,158千円）× 1/4 = 188千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 原材料費		
02 給料			17 公有財産購入費		
03 職員手当等			18 備品購入費		
04 共済費			19 負担金、補助及び交付金		
05 災害補償費			20 扶助費		
06 恩給及び退職年金			21 貸付金		
07 賃金			22 補償、補填及び賠償金		
08 報償費	101	101	23 償還金、利子及び割引料		
09 旅費			24 投資及び出資金		
10 交際費			25 積立金		
11 需用費			26 寄附金		
12 役務費			27 公課費		
13 委託料	2,914	2,914	28 繰出金		
14 使用料及び賃借料			予備費		
15 工事請負費			合計	3,015	3,015

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	13020101001	地域生活支援事業補助金	377	1,178
都道府県支出金	14020203208	地域生活支援事業補助金	188	589

【補助金】

補助金等の名称	地域生活支援事業補助金				
補助基本額	755	補助率	75.0%	補助金額	565

【実施計画】

実施計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節		
	細節		

